

第 8 期 第 2 回川口 A R A K A W A フォーラム 議事概要

●日 時：2011 年 11 月 29 日（月）18:30～20:30

●場 所：川口市役所第 2 庁舎 地下第 1 会議室

●参加者：委 員）西尾三枝子、堺かなえ、林美恵子、平野照子、正田洋一、橋本文男
参 与）小島優、桑原福造、新田光一、吉野浩
事務局）檜森裕司、綿引宙伸、安田裕則、畔蒜宏明、榎本翔

●配布資料：川口 A R A K A W A フォーラム第 8 期第 2 回議事次第

第 8 期第 1 回川口 A R A K A W A フォーラム議事概要（修正案）

資料 1 荒川将来像計画 2010 地区別計画【たたき台】〔川口市〕

追加資料 荒川夢クラブ設立 10 周年記念巡回展ご案内

追加資料 2012 年 1 月～3 月 豎川クリーン作戦に参加しませんか

追加資料 3.11 東日本大震災における被害状況について

●議事概要

1. 議事録確認委員の選出

第 2 回会議の議事概要確認委員には堺委員が選任された。

第 1 回会議の議事概要が確認され、疑問等ある場合は事務局宛に問い合わせるよう依頼があった。

2. 情報提供

○委員と川口市より

11 月 6 日に行われた荒川ふれあいまつりについての報告があった。

○委員より

資料「荒川夢クラブ設立 10 周年記念巡回展ご案内」と「2012 年 1 月～3 月 豎川クリーン作戦に参加しませんか」の説明があった。

○川口市より

委員 1 名が体調不良のために退会したことが報告された。

資料「3.11 東日本大震災における被害状況について」の報告があった。

委 員：液状化の影響や被害はあったか。河川敷だけではなく市内の。

川口事務局：特に聞いていない。

委 員：大利根村の方がひどかった。

川口事務局：河川敷は 2 ヶ所。

委 員：原発の風評被害で水道水についての発表があったが、その他作物等の被害はないのか。狭山のお茶が被害にあったということで、それを今の知事が隠していた。実際には相当数出て、知事が謝っていた。行政の人はどういう関心を持っているのか。

川口事務局：特に聞いていない。

川口市参与：把握していない。

委員：うちの方では心配している。売られている物は実際に検査されているのか、みんな疑問を持っている。

川口参与：それはやらないと。

委員：実際には検知器で自分で検査したい。東京都では市役所に２台くらい置いておいて貸し出している。それくらいしないと信用できない。

川口事務局：作物を測るというのは専門的な機械でないとできない。

川口市参与：川口の学校給食で使う食材はすべて測っている。

委員：どこで測るのか。

川口市参与：給食センターで測ると言っていた。学校と保育所の食材は作る前に測る。

委員：インターネットで「シルベク・グリーンピース放射能測定室」に独自の食品放射能検査の結果が詳しく載っているそうである。

委員：市内でも安行では相当畑をやっている。家でもやっているが、実際に測ることもできないし、食べても心配である。

委員：確か千葉県市の市原市では、市民が持ってきた食品を測定してもらえる。事業としてあまり高い値段ではないが。千葉県は線量が高かったのでもうそういうことがあるが、埼玉はない。

委員：埼玉でも出ている。現に狭山の方で。

委員：狭山のお茶は市場に出回っているということだ。

川口市参与：川口の農業は特殊で、植木花産業である。食材として流通している量は少ない。

委員：量の問題ではない。少なくとも汚染されていれば怖い。

川口市参与：出荷するとなれば、測っているのではないか。

委員：道の駅等で野菜を売っている。他府県の物も入っているが、地場のものを見ると気になる。わかっていけば安心して買える。

議長：農政課で何かやっているという情報があればまた後で。

川口市参与：直接、農政課に聞いてもらった方がいい。

委員：機械は高額だから・・・。

議長：高額だからできる、できないという問題ではない。農政課に問合せ。

委員：原発事故があってから購入して、学校でできるようにしたのか。各学校にあるのか。

川口市参与：食品を測る機械は２台。１台が高い。

委員：簡単にできないのか。

川口市参与：時間がかかる。

議長：この話が気になる人は、それぞれ担当に問い合わせしてほしい。

川口市参与：給食は学校保健課で検査している。保育園は保育課で。

3. 討議事項

○荒川下流河川事務所より

地区別計画策定のスケジュールについての説明があった。

委員：市民会議は１年間ではなく、地区計画の策定まで議論するということと、その先の別の整備計画についての組織については、代表者会議で今後話し合い、それを受けて今後市民会議がどうなるかはまだ決まっていないということか。

荒下事務局：委員委嘱期間は２年ある、最初は１年でやろうと思ったが、年度をまたいでやらせていただければ。

議長：そういう方向で決まりそうか。

荒下事務局：それでいければと思う。

議長：２月の将来像計画の協議会までに地区計画を策定するのは難しい。その次の８月の協議会に向けて、そこまではフォーラムとして地区別計画を討議していきたい。みなさんが納得すれば２３年度内に、決まらなければ２４年度まで、８月に協議会があるので、遅くとも６月くらいまでにはまとめた方がいい。そうすると本会議は、本日を入れて２、３回やりたい。

荒下事務局：今回の資料（資料１：地区計画書案）は、前々回と同じ資料である。中身は一緒だが、表紙、まえがきと目次も印刷したので、３ページずれている。

議長：Ｐ．８までの内容は将来像計画２０１０の中で書かれていることをまとめたもので、Ｐ．８からが川口部分である。

委員：前々回にある委員から「防災機能を携えた」を「防災機能を備えた」とするよう指摘があった。他にもいくつか意見があった。

議長：Ｐ．８～９に、川口市の考え方等が出てくる。Ｐ．１０～１１は将来像計画の内容である。

委員：Ｐ．１６の「光ファイバーを布設しました」は「敷設」である。日本語をきちんと精査したほうがいい。

委員：文字の間違いも含めて確認すればいいのか。

議長：Ｐ．１９下の河原町原っぱの矢印が、上の写真ではゴルフ場になっている。また、フットサル場整備後の航空写真は難しいそうである。

荒下参与：整備前の写真である。整備後の写真がない。

議長：来年度までに撮影する予定はないそうなので、絵だけでも載せておいていただきたい。

委員：Ｐ．１８＜ブロックの取り組み内容＞の５点目を具体的に紹介し、今後どうするかを明記できるといいという意見が出ていた。Ｐ．２０「ブロック概況」の４点目の水辺の楽校プロジェクトについて、写真も含め利用の状況や活動状況等詳しく紹介したらどうかという意見が出ていた。運営会議で、ブロック毎の位置づけ、ゾーニングでＰ．２２の中規模自然地がどういうものか、これだけ見た人にはわからないのではないかという話が出た。別のゾーニング、位置づけの考えでこの計画を作るとしても、中規模自然地や大規模自然地の位置づけがどういうものであったのか、説明書きを入れた方がよい。

川口市参与：Ｐ．１８＜ブロックの取り組み内容＞の３点目の表現では全部ビオトープとなってしまうので、「一部をビオトープとします」とする。

委員：この趣旨は全体的にエコアップするような流れで、こういう記述になったと思う。全てビオトープにしないといけなような記述では不都合が生じると思う。

川口市参与：全体は無理なので、できる所は作っていききたい。

委員：「自然化を図った一部をビオトープとする。」といった書き方ではどうか。

川口市参与：P. 16 の 3 行目の川口ゴルフ場はパブリックゴルフのことか、川口におけるゴルフ場のことか。言葉を統一するなら・・・

委員：フットサル場は、夏は暑すぎ、冬は寒すぎて利用しづらいという声を聞く。せっかく作っていただいたので、利用者数を増やすとともに、声をすくい上げて工夫がないだろうか。文言をどうするかという言葉の問題だけになっているが、そういうことを度々聞いている。これから施設としてさらにいいものに改善していく、あるいは自然への啓発も入っているのだろうが、そういう声を聞いているので、お伝えした。

委員：文言の修正だけでなく、中身も議論して、意見を言っているのでは。

委員：どうしたらいいのかわからないが。

議長：河川敷なので、高木は植えづらい。それを承知で使うしかない。

委員：あそこは人気がある。利用者が多い。

川口市参与：多い。

委員：私も紹介している。

委員：あの条件でやりたい人がやればいい。

委員：暑くなるのはフットサルだけではない。

委員：フットサル場が作られた経緯はここでも随分議論した。市の端にあってあまり人の来ない場所で、隣で河原町原っぱの活動などもやってきて、あの場所を知ってもらうためにもフットサルのコートはあった方が良いのではないかと、という話も市からあった。積極的に使われているということであれば、来た方に荒川や自然のことにも興味を持ってもらうために働きかけていくということがここに入っているといい。川らしさを満喫してもらう等、スポーツ利用の人と自然を守りたい人が触れ合えるようなきっかけになることを目的で作られたといったことが書かれているといい。

委員：今おっしゃったようなことは、このフットサル場は河川敷にある施設独自のもののなので、それが入っていれば委員のような意見は出てこない。ここはそういうフットサル場なので、あのままで利用してもらい、河原町原っぱのことも理解してもらう。その一言があるといい。

委員：P. 16 のこれまでの成果に入れる。

委員：オープンしたということで、もう一言。

委員：P. 18 の＜ブロックの取り組み内容＞の 5 点目に（要検討）とあるが、まだやっていなくてはないのか。

議長：私も意味がわからなかった。

委員：この部分は、どのような記述にしていくかこの場で検討していいということでは。

委員：あの場所をもっと検討する計画はあるのか。

委員：今もやっていることを今後も続けていく、広げてやっていくということでもいい。

委員：期待を持たせるような？

議長：ここの記述は、河原町原っぱ全体が、以前の計画では中規模自然地の位置づけであったが、要望があったにしても、そこを潰してフットサル場にしたということは、そのスポーツ団体と自然を守っている人たちとの良い関係ができるように、そういう取り組みを期待する。

委員：もっとフットサルの設備をよくしていくとかではなく？

議長：フットサル場を増やしていくとかでもなく。

委員：河川敷独自の施設だとアピールした方がいい。いまある以上の色々な施設はここにはいないので。

議長：ここはわかりやすく文を練って。

委員：P. 19 に川口地区のスーパー堤防の写真が載っているが、わからない。

委員：どの部分がスーパー堤防整備箇所かがわかりにくいのでは。

議長：事業仕分けで出来なくなっている。

委員：今問題になっている。

委員：前回、事業の進捗状況を質問し答えてもらっているが、仕分けにはかかったけれども、中止にはなっていないのでは。

委員：成果として一部は出てきているのだから、もう少しわかりやすく表示した方がいい。

議長：スーパー堤防は川口市、ゴルフ場まではできるのか。

委員：スーパー堤防はスーパー堤防でいい所があるだろうから、アピールするような記述があってもいいのでは。

委員：P. 17 の進捗状況図にスーパー堤防の整備範囲が示されているといいのでは。

議長：スーパー堤防を計画中の位置だけでも書いておいた方がわかりやすい。

委員：P. 23 の荒川浮間ゴルフ場から土砂置き場までは連続している部分だが、航空写真でもわかるようにそれぞれが切り離されたものではなく、三領水門にヨシ原もあり非常にいい所である。ゴルフ場も努力してエコアップし自然度が高まっている。荒川運動公園の所は、通称「釣り堀」の周辺や土砂置き場までの水辺を連続して捉え、一体化した空間として捉える考え方をした方が良い。ここに水辺の楽校が考えられたというのも、そうした所の良さを捉えたから、そういった取り組みも出てきたのかと思う。そういう考えが書き方のベースにない。もったいない気がする。文章を練ってもらえたら。今後どういう利用をしていくかということにも繋がっていくのでは。

委員：P. 22 の委員の指摘した水際は、元々中規模自然地として位置づけられていた。水際はフォーラムで見学したこともあったが、崩落している河岸を整備する話や木工沈床によって自然度を向上させるような取り組みが個別に行われている。しかし、＜取り組み課題＞の文章ではやっていることとやれていないこととの区別がわからない。どこまでどういう形で進んできて、どうした方がもっといいのかという話をもっと具体的に書いて、P. 23 の目標も明記できるといい。今あるものを活かすのか、整備するのかという話も含めて、これではわからない。中規模自然地の範囲というのも、ここだけというのではなく水際も含めもう少し線的な広がりのある話だという気がする。現状を見ながら、文章なり書き方なり、表現を変えていった方がいい。全般的にそういう感じがするので、ただ前の計画が出来ているか否かではなく、どこまで出来ていて、それをどうしたらいいかを個別にチェックしていった方がいい。今回たたき台を見せて頂き、個別に文言の訂正等もあるが、内容についてそれぞれみなさんが見てきて意見等出ていると思う。前々期に川を歩いたり船上から見学したが、これを踏まえてもう一度現場を歩いて進捗状況や、計画としてどう考えていけばいいのか、意見を出し合った方がいいと思う。次回の開催までに、今日の議論を踏まえて見学会を行っては

どうか。

委員：年内に行うのか。

委員：年明けぐらいはどうか。

議長：これを読み込んでいくと、言葉をつけ加えてほしいという所が出てくる。それを確認する上でも行った方がいい。

委員：記載されていることと違うかもしれない。

議長：みなさんよろしければ見学会を1回開きたい。

委員：今の段階で意見を頂いて、それも踏まえてということでもいいのでは。見学会をやることに関してみなさんに賛同して頂ければやりたい。

議長：日時は次回開催とともに後ほど調整する。掲載されている写真はこのままでいいのか。写真がなく言葉だけの部分や、もう少しわかりやすい写真があるのではないかな等あると思うので、これで決まりではない。P. 19 の河原町原っぱや河原町フットサル場は夕暮れ時の暗い写真になっている。これは明るい写真に変えると思うが。先ほどスーパー堤防がわかりづらいということで、この写真とともに変更した方がいい。

委員：整備範囲を図示したほうがいい。

議長：スーパー堤防とはどんなものなのか、写真の下に入れておくとか。一般の人が見てわかりやすい方がいい。これからはこういったものに興味を示す一般の人が増えてくると思う。そのためにも、それぞれわかりやすく写真なり、文章なりを加えていきたい。

委員：P. 27、3. 2. 2 川口市が行う維持管理については、「国、自治体、市民が協働で進めていきます」とある。行政と市民の役割のところでは、河川利用者としか市民をとらえていない。市民も一緒になって水辺空間を作っていく、その当事者であり、ただの利用者ではない。それが大事である。市民の役割に加えてほしい。そうすれば最後のところも生きてくる。行政の役割はかなり語られているが、市民は単なる利用者の存在みたいな書き方になっている。一緒に作っていく気持ちがあるので、ARAKAWA フォーラムに参加している。その辺のところが基本になる。

委員：委員のいうことはわかるし、その方がいいと思うが、文章をどういうふうに変えた方がいいか具体的に提案していった方がいいという気がする。誰が修正するのか。そういうふうに書いて下さいではなく、こういうふうに変えた方がいいと具体的に言ってもらった方が議論しやすいのでは。

委員：市民はもっと能動的だということ。

委員：「利用に努め、行政とともに水辺空間を作っていく担い手としての自覚を持ちます」とか「行動します」とか。

委員：この場で文章を決めるのは難しいので、他の箇所も含めそれぞれが気になる箇所についてもっと練って考えてくるというのはどうか。

委員：P. 25 の 3. 1. 1 管理計画策定の背景では少し触れられている。これと連動して、先ほどのところにもそういった趣旨で入れていただければ。

委員：川口のスーパー堤防は全部やるのに何年かかるのか。

荒下事務局：今やっている所は、平成 30 年頃終わる。

委員：前回の説明では堤防の形になるのは、その 2, 3 年前まで。状況としては 8 割方とい

う説明だった。

委員：川口全体では。

荒下事務局：裏側の人（市街地側の土地利用者）に合わせてなので。建て替えの時期がいつぐらいかにもよる。そういったことと一体となって、今まで事業を進めてきた。

委員：市民会議はなくなっていくのに対し、地区別計画は10年のスパンになる。P.30で市民が関わる、市民が水辺空間の担い手となる、そうした場として川口ARAKAWAフォーラムが紹介されているが、10年のスパンの間、2020年まで休止されても、この書き方だと2020年まで続くと読める。休止することが視野に置かれているなら、それを踏まえた市民が参画できる場、書き方をその辺のスパンと絡めて紹介した方がいい。そうでないと、せっかく将来像で作っても途中でこのページが実情と合わなくなるといったことが今から予想できる。

荒下事務局：ご意見を踏まえて決めていきたい。

委員：市民会議が復活することはあり得るか。

荒下事務局：今回は休止ということで、整備計画の議論に入るという形なので、整備計画は作って終わりというものでもないの、その後どういった形になるかはまた別の議論だと思う。

委員：流動的と考えてよいのか。色々な状況によって変化し、決定ではない？

荒下事務局：いろいろ意見を頂いているので、こちらでも考えてからお答えする。

委員：今までやってきたことの紹介も含めて、フォーラムの存在は地区別計画とは切っても切れない。今までも計画に基づいて議論してきたわけだから、フォーラムの位置づけが逆にちゃんと書いてあった方が良い気もする。今回のこの見直しについても、フォーラムでも議論されたことが含まれている。

委員：フォーラムの今後がまだはっきりしないとのことだが、これを手にした時に、ARAKAWAフォーラムはもうやっていないとただ言葉で言うだけではなく、フォーラムがどういうものであったか、どういう意味で一時休止になって、どういう方向性をこれから目指していくのか、その位置づけや経緯がはっきりわかるようにしたい。

委員：どういう扱いをしていくか議論の余地がある。

委員：この計画書は誰がいつ手にとるのか。

議長：前回の運営委員会でも出たが、議員に配っていないそうである。議員に荒川で起きた問題について話した時に、市民会議で話合っていることを知らない人もいる。

委員：最初の趣旨、何のために計画ができて、どこに向けて作って、いつこれが活用されるのか。徒労で終わるのでは。基本的なことがわからない。これは何のためにあるのか。

議長：ここで議論したことが少しでも反映されればいいと思ってこの中で話をしている。実際に反映された部分もあり、特に河原町では池や柵が整備された。一般の人が読むかということでは、どこに置いてどのように読んでもらえるのかまだわからない。一般の代表の議員にまず読んでほしい。

委員：どこに向かって公開するのか。冊子を作りかえたりするのにもお金がかかる。それが全部無駄になるのなら、やっていて何になるのか分からない。私は基本的なことを理解していない。

- 委員： ARAKAWA フォーラムがあること自体知らない人が多い。
- 委員： 有効な会があると思ってそれをやってきたが、事情があって閉じる、復活するかもわからない。段階的に進めてきて、計画作りに進展させて、ここに着地点が見えるということか。例えばこの冊子を作って、どこかにお蔵入りして、ずっと経ってからそんなものがあったのかということになるならもったいないし、金と時間の無駄である。川口市もお金があるわけではない。何でやるのか理解できなくてここに参加していて申し訳ない。
- 委員： 市民として思いや意見がありここに来ている、将来像計画に対して考えがあって来ているわけだから、新しくできた将来像 2010 の地区版として、今までどうだったのか、計画があってやってきてどこまでどうなのかとか、この先どうなるかということ。今の時点で振り返って、ここに書き記しておくことが大事では。市民が現時点で計画を振り返り、これはここまで出来ていて、こうした方がいいと明らかにしたのだから、その後誰がどのように検証するのかは定かでないが、市民側でもこの計画があることにより、計画が進んでいないとか、あの計画はどうなったかとか、10 年先のことが全て担保されるという訳ではないが、計画としては位置づけられるわけだから、やって無駄なことではない。逆に市民側が意見をたくさん言って、書くべきことを書き記しておく必要がある。
- 委員： 配るよりも記録として残るという意味で？
- 委員： 大事だと思う。例えば、関心を持っている人がいた時に、こういうものがあることを教えることはできる。
- 委員： その先の議長が言ったような議員に読んでほしいというのは別ものか。
- 委員： 別のことだと思う。
- 議長： この計画が出来れば成果となる。10 年後まで入っているの、10 年後まで逆に私たちは見ていった方がいい。フォーラムのメンバーである自分たちが関わり自分たちで見ていこうというものを作っていくわけで、10 年後に休止であっても、実際にこのようになっているか、それからどんどん変更されていくかどうかを監視して、問題があれば荒下に話す。それは大事なことで作りっぱなしではいけない。
- 委員： 5 年後、10 年後に見直すということがあって計画を作ったことが生きてくる。
- 委員： 今出たことは、検証、それをフィードバックして実行に移していくということで、P. 31 の PDCA をきちんとやっていくことである。これを徹底させていくことではないか。これがもっと広範囲に徹底的になされていけば、もっと浸透していったのではないか。それが残念ながら十分に機能しないまま終わってきたのか。これからの推進の仕組みとして図表化されているが、今後に向けて大事なことである。
- 議長： PDCA をやっていきたいが、行政側でこういう会議の中で持ってくれるかどうか。
- 委員： 「この計画に実施に向けて」というページは、荒川下流域全体の話か川口市の話か。例えば、川口市として見直す方向性で行くという目標がここで出せるのであれば、書いたほうがいい。基本的な全体の姿勢として、このやり方が推進の仕組みということで書かれていると思うが。
- 委員： 完成すれば各町会に配った方がいい。前にあった防災マップは町会長も持っている。PR になる。

- 委員：公民館に置く。
- 委員：置いただけではだめ。
- 議長：回覧してもらえば。
- 委員：P.31の4.3「計画書の周知」で「懇談会・タウンミーティング等」と書かれているが、本当にできるのか。
- 議長：現実には今まで・・・
- 委員：作っても配っても見る人はいない。川口市のホームページに載るだろうから。
- 議長：載るのか。
- 川口市参与：荒下の方に載るのではないか。
- 委員：川口市長のサインがあるから川口にも載せないと、印刷で配るよりも。
- 委員：市長は読むのか。
- 委員：一筆書く。町会長が全部読んで町会にPRして下さいと。ただ配っただけではだめ。
- 川口市参与：沿川でないと読んでもらえないかもしれない。
- 議長：市のホームページに載せてもらえるようにしたい。ただこれも良し悪しで、こういう計画があり「検討します」と言ったが、「検討する」を違う方向で考える人もいる。特に荒川は空き地があるじゃないかといったような市民の要望によってフットサル場ができた。市民の要望が（計画の理念と）また違う形での要望が出てきた時に、非常に怖い問題になってくる。
- 委員：それはしょうがない。10年のスパンの中で住民が変わっていくのだから、それなりに中身が変わるのは多少いい。将来フットサルを止めて自然地を作ろうという人が出てくるかもしれないし、逆かもしれない。その時の環境で変わってくる。
- 川口市参与：地区計画を作るということは沿川7区2市の特色、地域性がある。それで違ったものが出てくる。我々のように勉強してきて良く知っている人でないとわからないところもある。その人たちが他の地区と比べて、この手があったのだと比較できる、そういう意味合いは大きいと思う。一般に公表するよりレベルが高いものなので、ホームページに掲載されればそれはそれでいいと思うが、こういう勉強をした人たちがそれぞれ知っているということで、目的は達せられるのではないか。こういうプランや土台があるので、アクションを起こす時にこれで合っているのかチェックすることができる。そこまでのアクションを起こすには、知っていないといけない。平に全員に知ってもらうのがいいことかもしれないが、無駄になる部分も出てくるので、効率のいいやり方というのはそういうものではないか。実際に事を起こすには、このようにメンバーを集めて、それが原動力になり、傘下の団体があるからその団体の長に知って頂くのでいいのではないか。
- 委員：言われたことはすごく重要である。これを見て違うふう解釈することも容易であるので、いろいろ考えなければならないだろう。計画が情報交換の元になれば、それはそれでまたいろいろ荒川全体として考えるには有効である。
- 川口市参与：（目的や経緯などが）わからないと、結構中身が難しいので。
- 委員：西尾さんが言ったように、ここに空き地があるからもっとグラウンドを作ればいいといったようないろんな要望が出てきた際に、ここはこういう議論の経緯があって、計画としてこういう位置づけになっているとあれば、説明のしようがあるし、議論の

しょうもある。

委員：そう考えると、市の議員全員に配るのは、いろんなことを考えると、あまりいいことではないかもしれない。

議長：配る（計画を周知する）ということについては、どうやって知りたい人たちや、関心を持っている人たちにお知らせするかということをもう一度考えながら、課長が言った通りだと思う。それをいい方向と相手方を見つけることを一緒になってまた考える。これはお蔵入りしない様にだけお願いしたい。

委員：P. 28 の市民が行う維持管理の分担案は、各市区共通した内容だということだが、どこで詰めていくのか。代表者会議等で詰めていくのか、ある程度市区からの意見を出していくのか。

荒下事務局：ベースはできているので、各市区で独自の構造物等あれば追加、なければ削除していく。これをベースに考えてほしい。内容は市民会議で詰めてもらって結構である。

議長：次回会議で、市からもこれを消してこれを加えるというのがあれば、出してもらえるとわかりやすい。この内容を見ると、ビオトープや植物管理を市がやってくれる期待してしまう。

川口市参与：たたき台にいろんな意見を頂いたが、限られた時間だから持ち帰ってゆっくり見るとまだあるかと思う。各委員に具体的な記述をしてもらい、事務局に送って、次回会議に出したい。

委員：期日はあるのか。

議長：次回までもし意見があれば。それも全部ではなく 1 つでもいいから出し、その次にまた出るようなら、それはそれで出せばいいと思う。無理して全部やるということはない。そのためにも見学会をやるので、そこでも意見が出てくると思う。

委員：いつまでにできることを目指しているのか。

議長：来年 8 月頃に将来像を考える協議会が開かれる予定なので、その時までに出来上げて、それをその会議の中でみんなが OK と出すかどうか。

委員：どんな形で現地見学会を行うのか。

議長：（川口市地先の河川敷を）歩いて。

委員：どの範囲をどう歩くのか。

議長：全部。

委員：もう少しじっくり見たい。この間は数回に分けた。

委員：1 回目に全区間を歩いて、2 回目は船から見た。

委員：1 回で歩かないと、その時によって違うし。

委員：見たいポイントを決めておいて見た方がいい。

4. その他

・現地視察について

2012 年 1 月 29 日（日）に現地見学会を、1 月 31 日（火）18:00 より第 3 回運営委員会を、2 月 14 日（火）18:30 より第 3 回 ARAKAWA フォーラムを行う。見学会は 10:00 に三領水門の広場に集合、小雨決行、雨天の場合は議長と川口市事務局が判断して連絡する。川口市事務局が連絡網を作り配る。